

## 当院倫理委員会で承認された適応外使用医薬品に関する情報公開

東京臨海病院倫理委員会にて、下記の医薬品についてその使用の必要性和有効性・安全性等の面から使用に問題がないか等の審議を行い、適応外使用が承認されました。

使用に際して通常は患者さんお一人ずつに説明を行い同意を頂きますが、科学的に十分な根拠があり、かつ一般的に使用経験が豊富な使用方法であるため、倫理的な問題が極めて少なく患者さんに有益な使用と判断されるため、病院ホームページに情報を公開することにより同意を頂いたものとさせていただきます。本件について同意を頂けない場合やご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

### ○適応外使用医薬品

|             |                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 医薬品名        | 高濃度注射用カリウム製剤                                                                                                                                                                                                          |
| 使用場所        | ICU、手術室、血液浄化室                                                                                                                                                                                                         |
| 実施期間        | 承認後から見直しの必要性が生じるまで                                                                                                                                                                                                    |
| 使用目的        | 低カリウム血症に対するカリウムの補充                                                                                                                                                                                                    |
| 概要          | 低カリウム血症に対する治療で内服薬の服用が困難な場合は注射用カリウム製剤が使用されます。本剤は「40mEq/L 以下に希釈、20mEq/時を超えない速度、1 日最大投与量は 100mEq」の使用が認可されていますが、輸液量を制限する必要がある場合や急いで補正をする必要がある場合など、臨床現場では高濃度で適応外使用されています。当院では、ICU、手術室、血液浄化室での使用に限り高濃度注射用カリウム製剤の使用を承認しています。 |
| 予想される不利益と対策 | 本剤投与により予想以上に血清カリウム値が上昇することがあります。その場合、不整脈・心不全を起こすことがあるため、本剤使用に際しては心電図モニターを装着し、定期的に血液中のカリウム値を測定しながら治療を行っていきます。異常が現れた場合は、速やかに本剤の投与を減量・中止し、適切に対応します。                                                                      |
| 問い合わせ先      | 東京臨海病院 各診療科医師 03-5605-8811（代表）                                                                                                                                                                                        |